

## 砂漠の魅力

# Death Valley National Park -California-

デスバレー国立公園は、カリフォルニア州南東部、内陸部の二つの山地に挟まれた広大な乾燥地帯である。アメリカで最も暑く、最も乾燥し、最も標高が低い（Badwater 盆地は海面下 86 m）。

私たちは真夏の夜明け前「サンドデューン」と呼ばれる砂丘を歩くためデスバレーに向かった。暗いうちに国立公園の境を越えたが、着いた頃には太陽は地平線を離れ、強烈な日差しが砂丘を照らし始めた。ハイキングを終えた数名のハイカーが靴の砂を落としている。これから歩こうとする者は私たちだけであった。

砂丘の魅力は曲線美。風が作った砂の造形と太陽のもたらずシルエット。幾重にも重なる砂が波打つ姿に、私たちが普段見ることができない非日常のロマンを感じる。

現実には、砂丘のハイキングはつらい。中央の最も高い砂丘を目指して歩く。道はないからまっすぐ歩けばいいと思ったが、それは難しかった。歩けるところは砂紋のできる風上だけで、飛ばされた砂が落ちる風下は、膝まで沈み込んでバランスを取るのも難しい。



## 砂漠の魅力

# Joshua Tree National Park -California-

ジョシュア・ツリー国立公園の西端のブラックロック溪谷からノース・エントランス・ステーションまで、全長60kmのカリフォルニア・ライディング・アンド・ハイキング・トレイル (California Riding and Hiking Trail) がある。名前の通り、乗馬とハイキングのためのトレイルである。乗馬をする人はほとんどいないので、砂漠の風景を楽しみながら、のんびりとバックパッキングが楽しめる。

ここでの楽しみは、広大な平原のトレイル歩き。地平線の向こうへと続くトレイルは、どこまでも歩いてみたい気になる。砂漠の環境に適応した様々な種類の動植物も魅力的だ。公園の名前になったジョシュア・ツリーやいろいろな種類のサボテン。また、ちょこちょこと走り回るブラックテールラビットや運が良ければビッグホーンシープを見ることがもできる。夏は極端に暑く、シーズンは秋と春。サボテンの花が咲く2月が最もよい時期とされる。風がなければ冬でもさほど寒くない。

途中には全く水がない。重いが必要な分(10ℓ以上)を持っていくか、補給点を決めて置いておくかである。途中何箇所かで接する道路で先回りし、水や食料を置いておけば、荷物はかなり軽減できる。



## 砂漠の魅力

# Joshua Tree National Park -California- Pinto Mountain

砂漠の魅力は、オフトレイルハイク。目的地は、写真右のピントー山。ピントー盆地の真ん中に車を止め、地図とコンパスを頼りに1214mの山頂を目指す。トレイルヘッドには推奨ルートが簡単に示してあるだけ。最短ルートは正面の谷間だが、険しすぎる。左側に迂回し手前の山とピントー山の谷間を奥へ進み、真下の沢から頂上を目指すことにした。

谷間は、大きな石がごろごろした乾いた河原。ピントー山に近づくと山頂が見えなくなり、地形と地図を照らし合わせ、どの沢から登るか決める。砂地に残る足跡や沢の岩場のケルンが大きな手掛かりになった。



## 砂漠の魅力


# Joshua Tree National Park -California- Pinto Mountain



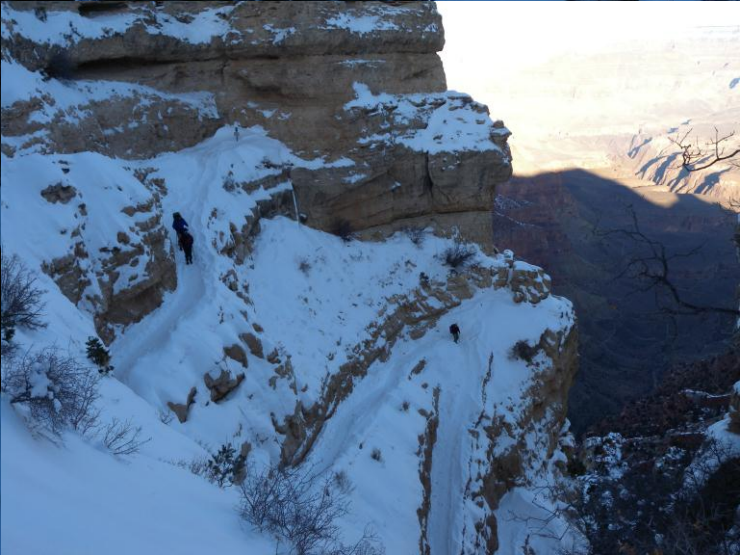
頂上付近は陰しく、石がごろごろしたくずれやすい斜面だった。  
午後1時過ぎ、山頂に着く。山頂には、頂上を示す木の柱と三角点の標識があった。標識には、「PINTO」とかかっていた。  
山頂からの風景は、乾燥地帯の荒涼とした山脈や盆地が360度広がっていた。「帰りは、どのルートで下ろうか。」と、地図を広げる。ここからは、車も道路も小さくて見えないが、山を下れば車が見える。遠くまで見渡すことができる砂漠では、トレイルがなくても目標を見ながら歩くことができる。

## 砂漠の魅力

# Grand Canyon National Park -Arizona-



夏には、何度か訪れたことのあるグランドキャニオン。サウスリムからノースリムへと、渓谷を歩いて横断した時は、酷暑との戦いであった。じりじりと照りつける太陽が、体中の水分を奪ってしまう。何度も水をかぶりながら歩き、暑さでなかなか眠れなかった夜もあった。



グランドキャニオンの魅力は、普通の登山との違いを体験できることである。困難であれば克服してやろうとか、「大変さ」を楽しんでやろうとする挑戦欲が湧き上がる。今回は12月。暖かいアリゾナでも、標高2000mのサウスリムは雪に覆われる。冬のバックパッキングはどうだろうか。氷点下の寒さの中、防寒具に身を包み、アイゼンをつけて雪のトレイルを下った。

## 砂漠の魅力

# Grand Canyon National Park -Arizona-

冬のグランドキャニオンへのハイキングは意外と快適だった。谷底では、夕方から夜にかけて冷え込んできたが、夏用のテントで十分眠れた。

2日目の登りも、午前7時に出発。途中の寄り道（この写真のプラトーポイント）への往復5キロを含めた18 kmを7時間で登り切った。装備は重くなったが、水は少なくて済む。夏に暑くてたまらないサウスリムへの道も、冬では体があたたまってちょうどいいくらいだった。

\* プラトーポイントから420m下のコロラド川を見下ろす。

# The Ancient Bristlecone Pine Forest

— White Mountains, California —

カリフォルニアの南東部、インヨ国立森林 (Inyo National Forest) ホワイトマウンテンの高地にブリストル・コーンパイン (or ブリッセル・コーンパイン, 和名=イガゴヨウマツ) の森がある。まるで枯れているように見える木、幹に細い穴をあけて年輪を数えた結果、樹齢は4000年以上、最も古い木は4700年であった。夏の乾燥、冬の積雪と強風に耐え、標高3000mを超える山の斜面に数千年も生き続けている世界最古の生命体だ。

